

⑩長山古城

慶長4年(1599)山口を領地とした毛利秀元が長山(現亀山)に城を築きますが、関ヶ原後秀元は長府へ移り、未完成におわりました。五十鈴川から水を引き入れ山の周囲をめぐる濠が描かれています。

⑪平蓮寺

今の市役所の辺りにあった寺院で、亀山の南側の丘は平蓮寺山とも呼ばれました。大内家代々の祈禱所といわれ、山口七葉師のひとつとされました。明治に神光寺と合併しました(現神福寺)。

⑫御茶屋

藩主や要人の滞在施設。御茶屋橋を渡った辺りやC・S赤れんがを含む一帯にありました。宝暦13年(1763)火災による再建時、それまで檜皮葺だったのを茅葺に替えたようです。

⑬今天神

古熊神社の江戸時代の古称。応安6年(1373)大内弘世が京都の北野天神から分霊を勧請したものと伝えられ、菅原道真を祭神とします。松の木町を経て駅通りに至る道を天神通りといい、山口天神祭の御神幸祭で神事が執り行われる御旅所があります。

⑭端坊

浄土真宗本願寺派。16世紀後半に京都端坊9世明念が建立しました。正徳2年(1712)正午を知らせる時鐘堂がつけられました。

⑮円満寺

日蓮宗。元禄14年(1702)馬場殿小路から吉敷村に移転しており、それ以前の図と思われます。

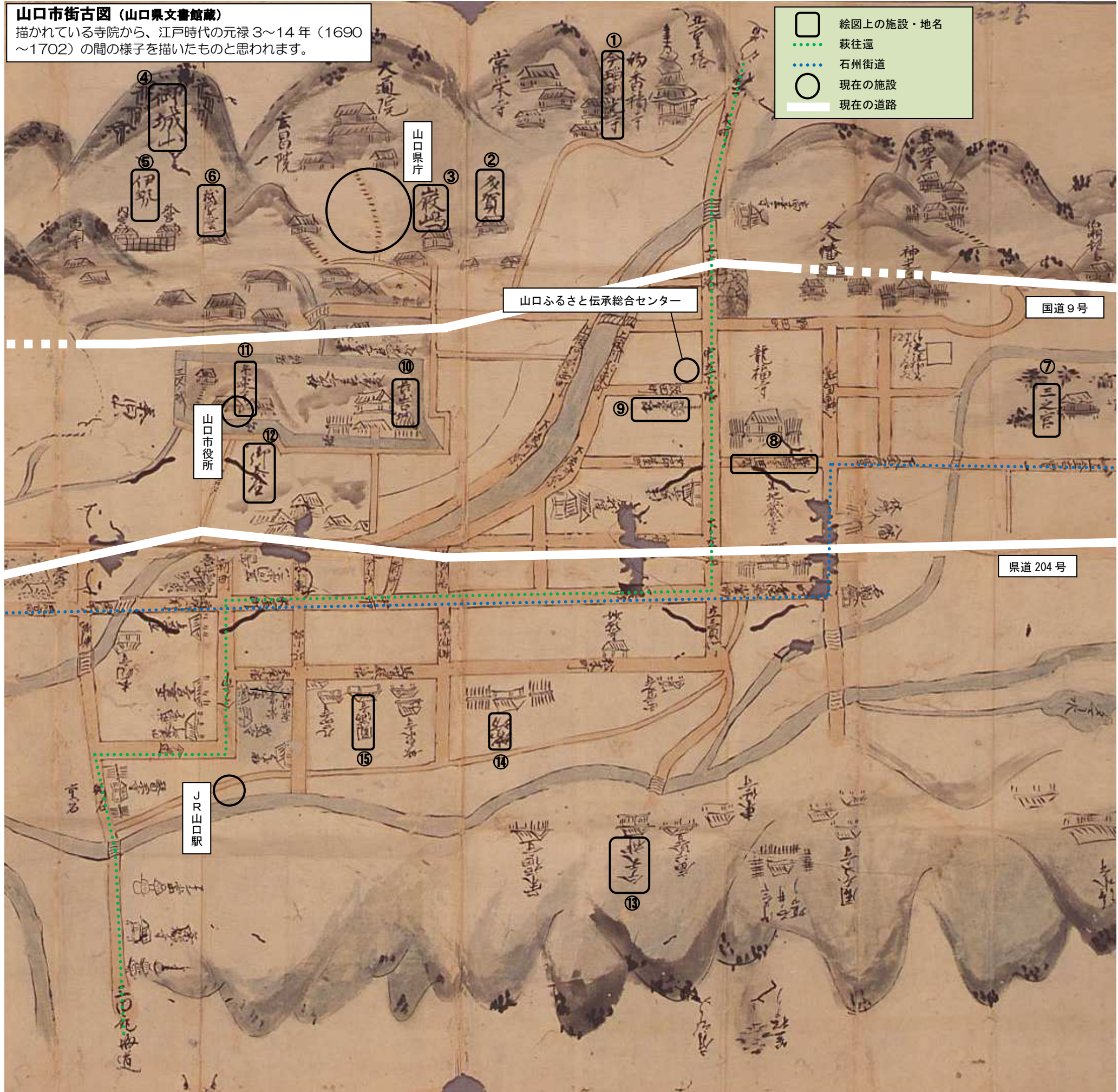
萩往還と石州街道

慶長9年(1604)萩城築城後、城下町萩と三田尻を結ぶ参勤交代の「お成り道」として、約53kmにおよぶ萩往還が整備されました。山口町には御茶屋や本陣などが設けられ、毛利のお殿様はじめ総勢1000人も参勤行列を迎えました。

石州街道は山陽道との分岐点・小郡津市から徳佐の野坂峠に至る、石見国(島根県西部)へ通じる道。他国からの「西のお伊勢さま」詣でも利用されました。

山口町は2つの「大道」が交わる交通の要衝でした。

山口市街古図(山口県文書館蔵)
描かれている寺院から、江戸時代の元禄3~14年(1690~1702)の間の様子を描いたものと思われます。



①瑠璃光寺

陶弘房の菩提寺として文明3年(1471)仁保に創建(当初安養寺)、元禄3年(1690)香積寺跡のこの地に移されており、この図はそれ以降のもののみられます。中国地方有数の名刹として知られました。

②多賀(社)

近江の多賀大社の分霊を勧請した古社で、永和年間(1375~79)大内弘世が社殿を建立、大内氏・毛利氏から厚く崇敬されました。昭和24年山口大神宮境内に遷座。延寿・安産の神様として親しまれてきました。

③殿島(社)

応永14年(1407)安芸国宮島より大内盛見が勧請したと伝えられます。元治元年(1864)藩主御屋形造営に伴い、現在の地(宮島町)に移されました。室町時代頃の多宝塔があります。

④御城山(高嶺城跡)

毛利氏の侵攻に備え弘治2年(1556)大内義長が、山口盆地を見渡すことができる鴻ノ峰に築城をはじめ、大内氏滅亡後は毛利氏の支城として城番が置かれました。慶長20年(1615)の一国一城令を受けて破却。城跡には曲輪や石垣、礎石などが残されています。大内氏館とともに「続日本100名城」に選ばれました。

⑤伊勢

伊勢から神霊を勧請された現山口大神宮は「高嶺太神宮」「今伊勢」と称せられ、九州や中国地方西部から多くの参詣者が訪れ「西のお伊勢さま」とも呼ばれました。昭和22年今の社号に改められました。

⑥祇園堂

大内義興が永正17年(1520)大神宮を勧請した際、祇園社(現八坂神社)もこの地に移し新築されました。

⑦三之宮(仁壁神社)

平安時代の記録が残る古社。大内義興は九州での戦陣から戻り、周防国五社詣でに。一の宮(防府の玉祖神社)・二の宮(徳地の出雲神社)をへて三の宮の仁壁神社にも参詣し神馬を寄進しました。

⑧龍福寺馬場

今の大殿大路。

⑨観音堂

木彫りの観音様は大内弘世の奥方の念持仏と伝えられ、大内輝弘の乱で兵火を被りながらも焼失せず、参詣者が絶えなかったといわれます。